

# こうとう民報

2015年2月号 124

江東区の職場・地域、議会などくらし・平和を守る運動をご紹介します。

発行 江東区民報編集委員会  
責任者 猪又 武夫  
住所 江東区東陽2-3-5-203  
電話3648-5155FAX3648-5137  
ホームページ  
http://www.koto-minpo.jp/

# 2015国民春闘を地域から成功させよう!



2015江東国民春闘共闘委員会結成・学習会

2月13日、江東区労働組合総連合の呼びかけで、「15国民春闘共闘委員会結成集会・学習会」が開かれました。集会には、14団体42名の個人・団体代表が参加しました。公共一般江東支部、自交総連日の丸労組、東京医労研研究労組、郵政ユニオン新東京支部が、春闘に向けての活動報告と決意表明をしました。

主催者を代表し名越秀和委員長は、「春闘勝利に向けて、しっかりと学習し団結したたかおう」と開会あいさつ。続いて清水英明事務局長が春闘の経過報告と江東区内の情勢、賃上げなど運動方針の報告と提案を行い拍手で採択されました。

東海林智氏（毎日新聞記者、元新聞労連委員長）が「安倍政権下で人間らしく働くために、格差の構造と労働組合の役割」と題して記念講演。

東海林氏は、「今日、残業代ゼロと言われるWE（ホワイトカラー・エグゼンプション）をつくり、労基法改定をしようとする労働政策審議会がW Eを含む改定案が報告書として提出された。春闘のたたかいと共に地域と連帯した運動を広げていくことが大切だ」と強調。

安倍首相は、選挙中は雇用が増え、失業率の低下、有効求人倍率が1倍を超えたと誇示していたが、選挙直後の厚労省発表では、非正規が2000万人を突破し、求人倍率で増えたのは非正規の増加で、正規が0.6倍に後退しています。

## 生活と平和を守る予算に

2月19日に始まった区議会第1回定例会では、本会議質問に今期で勇退を決めている日本共産党区議団の齋藤信行議員が立ち、堂々の質問を行いました。

## 安倍暴走政権にストップを

齋藤議員は政府が進める「集団的自衛権の行使容認」「消費税増税」「労働法制の改悪」などについて山崎区長がこれらを容認し、むしろ積

求めてきた保育園増設、商店街支援やマンション耐震化の補助金増額など一定の前進はあるものの、保育園給食や学校警備、出張所窓口などの民

## 齋藤信行議員が最後の代表質問

### 〈第1回定例会〉

区の予算案では、区議団が

の対象拡大、区内中小企業支援予算の充実、平和都市宣言に基づく事業の充実などを求めました。

働を認めようとしています。「限定正社員」で、就労職場や職種等を限定し移転等で自由に解雇。「無限定正社員」は就労地域や職種、労働時間など規制をはずし長時間労働かそうとする「労働者奴隷化」の制度の導入です。日本郵便では限定正社員制度が既に導入されています。鳴らしています。「労働組合がなければ人間らしく働けない」分断を乗り越え、仲間を増やし非正規と共にたたかおうと呼びかけました。

## 学習決起集会

江東税制民主化協議会



46回を迎える「3・13重税反対区民集会」の成功をめざし2月17日「学習決起集会」が開催されました。学習会では、浦野弘明氏（税理士）が記念講演しました。浦野氏は講演の中で、憲法が応能負担を原則とし、平和と福祉のための税金であることと示した税制の基本を解明した上で、安倍政権が逆進性の高い消費税増税で、庶民や小企業から金を吸い上げて大企業に注入していく不当性を厳しく批判しました。

## 憲法に基づき事実を正しく伝える教科書を

今年行われる中学校の「歴史」「公民」教科書の選択が対決課題となっています。前回議会では自民党議員などから「従軍慰安婦問題を教える歴史は間違っていた」として「正しい歴史を教える教科書選択を」などの質問が出され、同趣旨の陳情も出ています。

齋藤議員は「従軍慰安婦は事実として確定している」といくつもの検証事実を示して明らかにし、教科書選択は教育現場の声を尊重し、憲法に

## お疲れ様でした

齋藤議員は質問の最後に今期での引退を表明し、議員活動を支えてくれた方々への感謝と今後も共産党員として社会の変革に立ち向かう決意を述べました。答弁ではことごとく区民の願いを省みない姿勢の山崎区長ですが、「最後まで変わらぬ姿勢を貫いてこられたことに敬意を表する。お疲れ様でした」との主旨の発言で応えました。

## 朝騒

立春を過ぎて三寒四温に。北国では例年になく豪雪になっていますが、東京では朝起きるごとに陽差しが暖かくなり、確実に春の到来を告げています。先月26日に開会した通常国会は、総選挙で当選した21人をふくめ32人に躍進した日本共産党国会議員団が、衆参での議案提案権を行使して安倍政権の暴政に立ち向かう初舞台です。衆院では、20年間政治腐敗と政党の堕落・劣化の元手だった政党助成金制度廃止法案の提出をはじめ、過激武装集団による日本人質事件への政府の対応の検証、辺野古の海埋めたて反対の島民への弾圧の糾弾、参院でもブラック企業の現場の実態報告等々、論戦での胸のすく議員の活躍に躍進した力が実感されました。それにくらべて、選挙中にはおくびにも出さなかつた「暴走メニユー」をならべた安倍首相の施政方針演説は、具体的な内容のない「改革」を38回もくり返し、野中広務氏が「昭和の東条首相」になぞられたように強圧的なものでした。日本の未来を託すことができない政権であることが一層明らかになっています。江東区では19日からの区議会で、8期32年務めた齋藤信行区議が最後の本会議質問に立ちました。そして舌鋒鋭く安倍政権の社会保障切り捨てと消費税増税や「戦争する国」づくりをただし、悪政から区民を守る地方自治の本旨にもとづく区政への転換を追求しました。

「労働組合の結成と普通選挙法運動」

労働組合期成会事務所



概説 江東の歴史 (42)

紡績工は12時間労働の昼夜交代制で働かされました。1899(明治32)年、男工は日給24銭、女工14銭で、食費8銭が引かれまし

た。女工の約半数は1年たらずで結核などの病気でやめさせられました。東京紡績の女工1843人のうち14歳未満1276人で、949人は寄宿舎に閉じこめられます。

労働者は、この奴隷のような労働条件改善のために労働組合をつくり、たたかいに立ちあがります。日本で初めて労働組合の結成を呼びかけたのは、米国で労働運動を経験した高野房太郎や片山潜です。1897(明治30)年、「職工諸君に寄す」を出し「労働組合期成会」を結成、機関紙「労働世界」を発行します。

同年12月には、本所、深川の労働者が鉄工組合を組織しました。東京紡績、平岡工場(自動車会社の前身)、本所の中島鉄工所等で第6支部をつくり、翌年の際に事務所をおきました。翌年、石川島造船所の小沢弁蔵らが鉄工組合の支部を結成。また東京印刷深川工場の活版工らが「活版工同志懇話会」を結成し、東京の活版工組合に発展していきました。

政府は1900(明治33)年、労働組合結成を禁止する「治安警察法」を制定しますが、資本家や地主の代表が議会議席を占める選挙制度を改め、労働者にも選挙権を認めよと、「普通選挙期成同盟」が結成されていきます。

東京の普選運動の中心になったのは、深川区理髪業組合でした。佐賀の組合取締高橋徳蔵、富岡門前町の副取締池田清次郎らは、1900年2月、深川公園内の茶屋で総会をひらき、普選期成同盟に加盟。翌年10月24日、永代橋際の永代亭で講演会を開催します。大井憲太郎、片山潜、幸徳秋水、木下尚江が弁士でした。「労働世界」は深川区理髪業組合を「東京市中最も進歩したる組合」と評価します。

労働組合結成や普選運動でも、深川の労働者は先駆的な運動を展開したのです。

2015江東母親大会

八法亭みややっこさんか講演

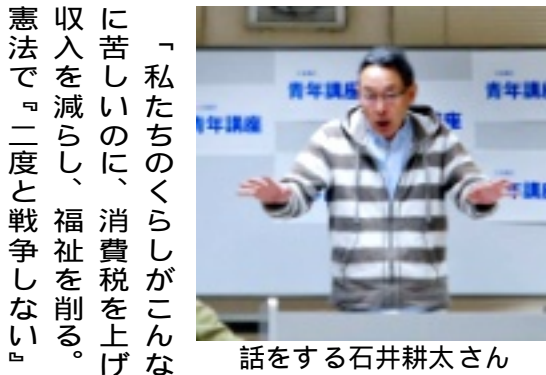
歴史に学び未来を志向する日本国憲法



講演をする八法亭みややっこさん

2月11日、砂町文化センターで開かれた「2015年江東母親大会」。午前中には全体会が、午後は、三つの分科会が開かれ学習と交流がされました。

主催者を代表し挨拶に立った伊原静江さんは、安倍内閣が集団的自衛権行使を容認する閣議決定の強行をはじめ、自衛隊法や周辺事態法、PKOなどの改定を、5月の通常国会で成立させようとする動きを厳しく批判。また民意を無視した沖縄・辺野古新基地建設工事の強行と沖縄振興費の削減、原発再稼働の動きなども批判しました。



話をする石井耕太さん

「私たちのくらしがこんなに苦しいのに、消費税を上げ、収入を減らし、福祉を削る。憲法で『二度と戦争しない』と決めていなのに『戦争できる国』に変えようとする。沖縄県民が島ぐるみで反対しているのに辺野古の基地建設を強行する。どう見ても異常だと思いませんか?」との問いかけから始まった学習会。



挨拶をする佐藤巖会長

このおもとには第二次世界大戦後につくられた「アメリカ力いなり」が背景にあります。日本の大企業・財界はアメリカの支配を受け入れ、政治も「大企業の利益をいかに大きくするか」を最大の動機・目的にして行われています。

立憲主義の立場を否定し、平和主義を放棄しているという指摘。東日本大震災を利用し「緊急事態法」を新たに創設して、緊急時に国民の権利や財産権を制限しようとしていると批判しました。

「緊急事態法」を新たに創設して、緊急時に国民の権利や財産権を制限しようとしていると批判しました。と呼びかけました。

石井さんは「綱領は私たちが日本や世界の現状を見たりするうえでも大きな手引きになるだけではなく、これを多くの国民の皆さんに共有していただき日本共産党とともに日本を変えようではないかという共同をすすめるために大きな力を発揮することになる」と話されました。

参加者からは、「日本の現状とかみあつて理解を深めることができたら」など感想が寄せられました。

2.8 野郎のニュース

行事日程
○3月1日(日) 13時 『ひなまつり行動』(沖縄支援) 亀戸梅屋敷前、新婦人江東支部
○3月6日(金) 18時半 『江東革新懇総会』
○3月8日(日) 13時開場 『東京大空襲を語り継ぐつどい』 江東区文化センター・ホール
○3月10日(火) 10時 『戦跡めぐり』 清澄白河駅前集合、年金者組合
○3月10日(火) 18時半 『東京空襲語り継ぐ集会』(申込み制) ティアラことうとう、主催・江東区
○3月13日(金) 13時半 『重税反対統一行動』
○3月24日(火) 18時半 『江東社会保険推進協議会総会』 東京土建江東支部会館

全生連は昨年、創立60年を迎え、生存権を守るたたかいの中で、白内障手術の保険適用など多くの実績を積み上げてきました。佐藤巖会長は「忘れてならないのは、共産党議員団が要求実現に向けて協力してくれたこと。昨年末の総選挙で共産党が躍進したことは、私たちにあって、明るい展望が開けたと心からの喜びです。今年、4月に江東区長・区議員の選挙があります。この選挙でも私たちは大いに力を発揮し勝利しようではありませんか」と呼びかけました。